

4歳児 あか組指導案

2年保育4歳児  
男児12名 女児15名 合計27名

1 クラスの実態

幼 児 の 実 態	本 日 ま で の 指 導 の 経 過
<div data-bbox="190 379 631 450" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">先生見て！すごいでしょ</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレヨンで描画をしたり、油粘土で型抜きをしたりして楽しんだ。</li> <li>・ブロックを立体的に組み立て、ロボット、車、恐竜等をつくり、喜んで教師や友達に見せにきていた。</li> </ul> <div data-bbox="190 549 728 632" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">何ができるのかな？やってみたいな！ 友達と同じ物が欲しいな！</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き箱や空き容器、広告紙や新聞紙など新しい素材にふれ、丸めたり、繋げたり、破いたりしながら、素材の特性に気づき、つくる楽しさを感じはじめた。</li> <li>・友達の遊びに関心を持ち、真似をしてつくってみたり、見立てたりして、遊びへの思いを膨らませながらより遊びを楽しみだした。ヒーローごっこやレストランごっこでは、遊びに必要なものを自分でつくったり、「こんなものをつくりたい。」と、教師に伝えたりするようになってきた。</li> <li>・つくるための必要な道具（ハサミ、糊、セロハンテープ、ガムテープ、両面テープ、型抜き、粘土棒）に興味を示し使い方にも関心をもって遊びはじめた。</li> </ul> <div data-bbox="190 970 833 1027" style="border: 1px solid black; padding: 5px;">いっしょにつくろうよ！もっとやってみたい！</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と同じことをしたい、同じ場所で遊びたいなど、遊びへのイメージを空間へ広げはじめている。</li> <li>・ダンボールにもぐったり、電車ごっこをしたりしながら、友達と思いを伝えながら遊びを楽しんでいる。</li> <li>・砂場遊びや水遊びでは全身を使って遊び、砂や水の感触や開放感を味わっている。「みんなで温泉をつくろう。」「またやってみようよ。」など何度も繰り返し、友達と遊んでいる。</li> <li>・絵の具遊びから、「きれいだね。」「色が変わったね。」など、色に興味をもちはじめ、スポンジペンや絵筆を使って描画や線画など自分なりの表現を楽しみはじめている。</li> <li>・泥粘土遊びでは、匂いをかいだり、足で踏んでみたり、上から落としてみたり、ぬたくりしたりしながら、楽しんでいる。ヘビやお団子等思い思いの物をつくっているがまだダイナミックな遊びが見られない。当日は、もっと感触や偶然出来た形を楽しめるようにしたい。</li> </ul>	<div data-bbox="1176 368 1989 400" style="text-align: center;">(具体的な教師の援助・教師の願い ○ )</div> <div data-bbox="1084 421 2011 459" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">安心できる環境のなかで遊びを通して友達とふれあってほしい。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭で慣れ親しんだ遊びを設定し、それぞれのコーナーに教師が十分にかかわり、ありのままの姿を受け止め、じっくり遊びが楽しめるようにした。</li> </ul> <div data-bbox="1093 549 1809 632" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">身近な素材にふれ、遊びを楽しんで欲しい。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その素材の特性（丸める、折る、ねじる、ちぎる）に気付けるよう、遊びに取り入れながら素材の特性を生かしていけるように一緒に考えたり試したりした。</li> <li>・素材を十分に準備し、一人一人のかかわり方を認め、伸び伸びと楽しめるようにした。幼児のこんなものがつくりたいという思いが実現できるように援助し、つくる喜びが味わえるよう配慮した。</li> <li>・道具の使い方や約束事を共通理解できるようにし、繰り返し道具を使える環境を整えていく。</li> </ul> <div data-bbox="1070 916 2033 999" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center;">自分なりの表現を楽しみながら、遊びへの思いを膨らませて欲しい。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの幅が広がるように援助しながら、友達同士でも刺激を受けられるように、新しい素材や用具など自由に使えるように用意する。また、それらを生かした活動が楽しめるように環境を整えていく。</li> <li>・幼児の好奇心を大切に、幼児の気づきに共感していく。</li> <li>・全身を使って泥粘土遊びを楽しみながら、つくる喜びを感じ、自分なりの表現に自信がもてるようにしていきたい。偶然出来た形、見立てている姿、友達と一緒にやっている姿を認めクラスの友達に伝えていきたい。</li> <li>・感触を楽しみながら、全身を使ってダイナミックに、心を動かしながら遊べるようにしていきたい。</li> </ul>

2 展開 <心と体を弾ませて！泥粘土遊びを楽しもう！>

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・泥粘土の感触を味わいながら、友達と楽しさを共感する。</li> </ul>	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全身を使い泥粘土の感触や面白さを味わう。</li> <li>・自分なりの表現を楽しみながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。</li> </ul>	
時間	生活の流れ	環境構成と教師の援助	
8:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○登園する <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする</li> <li>・所持品の始末をする</li> <li>・おたより帳にシールを貼る</li> </ul> </li> <li>○好きな遊びをする <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き容器・空き箱製作など</li> </ul> </li> </ul>	<p>朝の出会い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「おはようございます」と明るくあいさつを交わし、幼児が一日を安心して過ごせるよう温かく迎える。</li> <li>・幼児の心身の健康状態を把握する。</li> </ul>	
9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○片付けをする <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレを済ませる</li> <li>・身支度や準備をする</li> </ul> </li> </ul>	<p>泥粘土の楽しさを感じよう！ 泥粘土の感触を楽しもう！</p>	
10:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎泥粘土遊びをする <ul style="list-style-type: none"> <li>・こねる ・落とす</li> <li>・踏む ・丸める</li> <li>・ぬたくる ・つなげる等</li> <li>・見立てたり、偶然できた形を楽しむ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎一人一人がどんな思いをもち、取り組んでいるかを捉え、その幼児にあった援助や言葉かけをする。</li> <li>◎展開されていく活動の中で幼児の思いを引き出し、「こんなのできたよ！」という発見や喜びに共感していく。</li> <li>◎個々でつくる楽しさや、友達と一緒につくる楽しさ、喜びを感じられるように幼児の思いを受け止め見守ったり、周りの幼児の取り組みにも目を向けられるよう配慮する。</li> <li>◎遊びの展開に応じて粘土の量を増やしたり、板の置き方を変えたり繋げたりできるようにする。</li> <li>・天候、気温、幼児の体調に合わせ、衣服調節をしたり、裸足で遊べるよう環境を整える。</li> <li>・活動に入れない幼児には、タイミングを見て誘い、一緒に友達の活動を見るなどきっかけをつくっていく。</li> </ul>	
10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○片付けをする <ul style="list-style-type: none"> <li>・泥粘土を小さくし、ポリ容器にしまう。</li> <li>・手足を拭き、シートをふく。</li> <li>・手足を洗う。</li> </ul> </li> </ul>	<p>片付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児一人一人が進んで片付けに参加できるように「これお願いしてもいいかな？」「頑張ってるね。」「片付けチャンピオンだね！」などと声をかけ、周りの幼児にも気付けさせるようにする。</li> <li>・木へらで手や足を怪我しないように十分に注意する。</li> </ul>	<p>給食</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しい雰囲気食べられるように音楽をかける。</li> <li>・必要な幼児には、食事のマナーをその都度伝え、自分で意識できるように援助する。</li> <li>・苦手なものでも食べることができたら十分に褒め自信につながるようにしていく。</li> </ul>
11:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○給食の準備をする <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事をする</li> </ul> </li> </ul>		
13:20	<ul style="list-style-type: none"> <li>○のんびりタイム</li> <li>○片付ける</li> </ul>		
13:50	<ul style="list-style-type: none"> <li>○降園の準備をする <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレを済ませる</li> </ul> </li> <li>○降園前のひととき <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌う</li> <li>・絵本を見る</li> <li>・あいさつをする</li> </ul> </li> </ul>	<p>のんびりタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆとりをもって楽しめるように配慮する。</li> <li>・友達と一緒に遊ぶ楽しさが感じられるようにする。</li> </ul>	<p>降園前のひととき</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌を歌ったり絵本を読んだりして落ち着いた雰囲気降園を迎えられるようにする。</li> <li>・今日一日の出来事や共通理解しておきたいことについて幼児に話をし、来週の活動への期待につながるようにしていく。</li> <li>・忘れ物がないよう確認したり、道具箱の整理を呼びかけたりする。</li> </ul>
14:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○降園する</li> </ul>		

予想される環境構成図

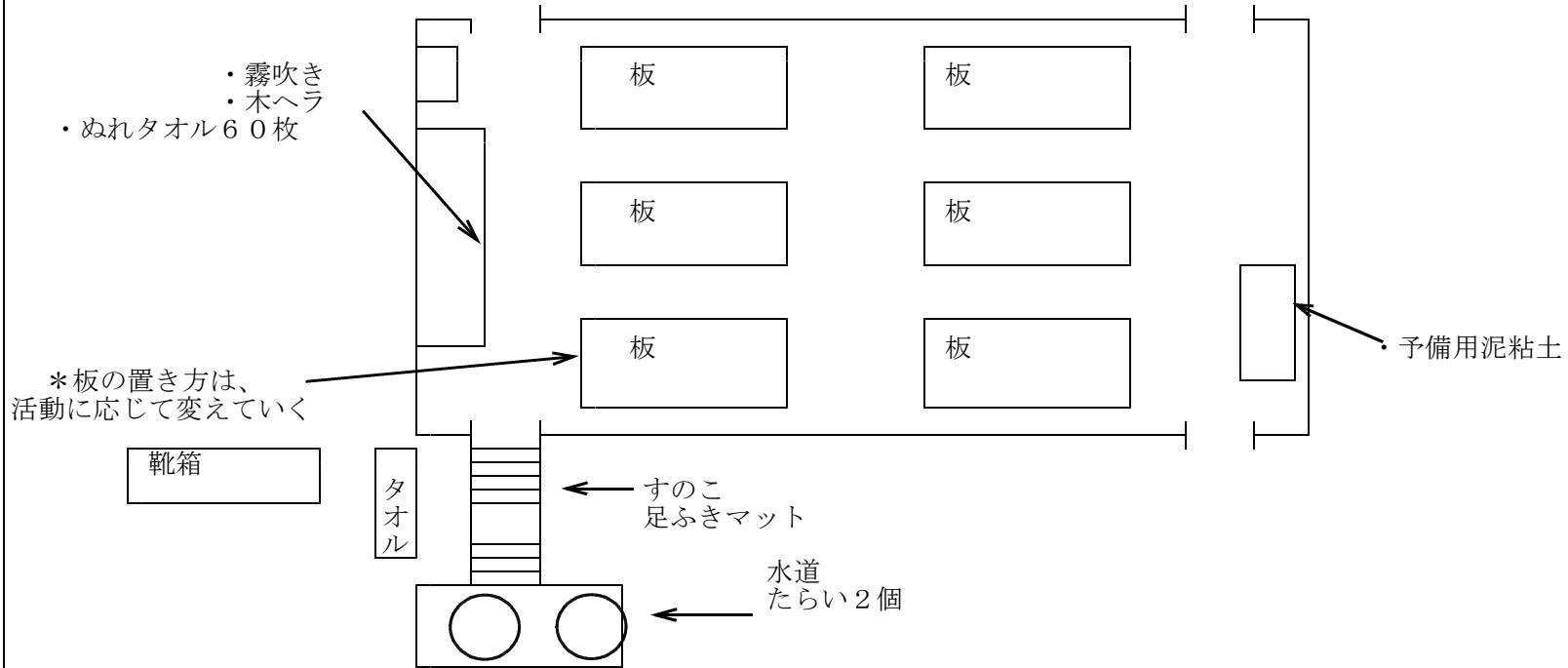
<心と体を弾ませて！>

泥粘土の楽しさを感じよう！  
泥粘土の感触を楽しもう！

場  
所

教材室 1

< 教材室 1 > < 泥粘土遊びをする >



<テラス>

- ・足ふき用タオル
- ・靴下、上履きを脱ぎ、靴箱に入れる。
- ・手足を洗う。
- ・すのこ
- ・マット